

資料 自由記述項目への回答

「これまで受けたサポート・サービスについて、特によかったことや、今後改善したらよいこと」「国・自治体・施設等に伝えたいこと」の2項目に対する回答のうち、「里親」「ファミリーホーム」が含まれる回答を抽出して整理した。なお、本人が特定されるおそれがある回答等について、非公表、または一部加工を行ったうえで掲載している。

【肯定的な経験や意見】

(全般)

- ・里親制度はありがたかった。
- ・私は複雑な家庭の事情があるなか、施設の職員の方や、里親さんのおかげで、今こうして働いて生きていくことができます。本当にありがとうございました。

(親と離れることができたこと)

- ・親元を離れて暮らし、里親さんに拾ってもらって今の自分があると思います。正直昔の暮らしのまま過ごしていたら、自分は腐っていたと思います。児相に（私）と家族を引き離してもらえて本当に感謝しています。
- ・（私）は親と離れて安定した生活ができました。里親さんやケースワーカーさん、その他さまざまな人に支えてもらって今もとても幸せです。これからも、たくさんの子供達のヘルプや、未来へ向けてのサポートをお願いします。

(里親がしてくれたこと)

- ・里親さんには一人暮らしをするにあたってお金を貯めていく必要があること等を先に伝えていただき、昼夜働く私に生活面でサポートして下さった。
- ・里親さんとの出会いはとても良かったです。色々な方と繋がるきっかけをくださったり沢山の愛を感じる事ができました。
- ・里親宅から離れる際に、賃貸アパートの契約について協力して頂いたこと。
- ・私は里親委託になったおかげで解除後も里親さん宅で一緒に過ごせているため、貯金をしたり仕事ができたりしていることで、とても良かったと思っています。1人でも多く里親委託になれば良いなと思いました。

(里親とのつながりの継続性)

- ・里親さんや児童相談所の職員さんも、(職業支援)の方もよく相談にのってもらえます。
- ・里親さんはとても良くしてくれたし、今も仲が良いです。
- ・里親はいつ連絡しても嫌がらず歓迎してくれる。本当に感謝しています。
これからは私も助ける方の人間として協力していきたいです。
- ・施設や里親さんには大変お世話になりました。(退所)後も引き続き連絡を取っていただき、とても感謝です。大したことはできませんが、いつか恩返しができたら良いと思っています。
- ・元里親と同居しているので安心。
- ・私が結婚して子供が生まれてからも「里孫」と言って、自分の孫のように可愛がってくれています。里親といえども本当の親同然で、巣立ってからも私の人生に関わってくることが私への1番のサポートなのだろうと思っています。
- ・(季節・週末里親)との関係が施設を退所後も続いているのでこの(季節・週末里親)という制度は続けた方が良いと思う。

【課題、提案や要望】

(普及・啓発、子どものへの早期の情報提供)

- ・里親制度、中学生の時に制度知った。この様な制度があることの連絡がほしいです。
- ・●年生で家を出て里親さん、施設、自援に入所しましたがもっと早く相談する場がある事、親以外に頼れる場所寝れる場所がある事を知っておきたかったなと思います。
- ・里親制度の知名度アップのために里親制度を知らない方に知ってもらえるよう講演会などを開催してほしい。

(虐待などへのケア、心理教育)

- ・施設に入居の子や里親にお世話になっている子に当たり前を教える。小さい頃は何が普通かわからない。虐待されてもそれが普通と思い大人になり気づく場合もある。

(生活スキルの獲得)

- ・施設や里親さんのところにいるうちに家事をできるようにするような機会がもっとたくさんあった方が後々に困らずに済むと思います。

(原家族とのつながり)

- ・「生い立ちの整理」をしたかった。生みの親について触れると里親からあまり良い顔をされずに、聞きづらく今も聞けていない状態である。「生みの親に取られるのではないか」、「生みの親を知ることは幸せにならない」という里親の気持ちや児相職員などの気持ちは分かるが、一般家庭が知っている当たり前のことを知りたいという気持ちをもっと尊重して欲しい。
- ・私が長い間お世話になった児童養護施設と里親さんはとても良かったのですが、実の親との関係について全く改善できてないので不安です。

(18歳までの一時的な家族)

- ・18歳になったら1人で生きていかなきゃいけないのでしっかりするよという方向で話をされていたので、その後に相談できる場所があることをしらず、そもそも相談して良いという意識がなかった。また、18歳で措置解除と共に、里親さんに関係性を線引きされ、自分は家族だと思っていたが、里親家庭とは「一時的に家族を体験する制度」なのだとは強く感じ、それなら最初からそれを知っておきたかったと思いました。
- ・現在国や（都道府県）は、施設から里親家庭、養子縁組へ移行を進めていますが、いち里親家庭当事者として、アフターケアの有無や、繋がり継続の有無、という点において、里親家庭はあくまで一時的な居場所であったと感じています。里親家庭で措置解除後も仲の良い家庭もあるかと思いますが、それは個人単位で行われていることであって、制度上の区切りとしては施設里親家庭であり、今後養子縁組のように末長く安定した関係性を築くことのできる仕組みが整備されることを望みます。

(ケアを離れたあとの困難)

- ・里親家庭やファミリーホームで育った子どもが自立後に置かれる環境は、本質的には施設出身者と変わらないことも普及してください！！

(相談できる人、場所)

- ・自分が施設出身であることや、里親家庭ってことをなかなか口に出して誰かに相談できない人が多いと思うから気軽に相談できる場所や人がいたらいいと思う。

(児童相談所への要望)

- ・携帯電話を持たせない里親や、外出許可制の里親の場合、児相に行きたくても、相談しなくても出来ない場合が多いので、措置したらバイバイなんかじゃなく、その後も面会に行ってやって欲しいです。
- ・担当が変わったなら里親さんに一言伝えてほしい。
- ・合う里親さんと合わない里親さんが居たので、よく話を聞いたり、調節をしてあげてほしいです。私にしてくれたように。ありがとうございました。
- ・里親が少ないことを理由に、見て見ぬふりをするのをどうかやめてください。救った命を落とさせることになり得ます。

(里親制度への要望)

- ・子ども手当ですが、里親の方に届かず実親に届くと子ども自身に使われることが少ないのではないかと思います。里親等の金銭的負担ばかりがとて大きく国や地域からの補助のみで、就業できる能力がありながら養育費を背負うことなく過ごせる実親に憤りを感じます。
- ・アパートの保証人が見つからずに苦労したので、里親を保証人として認めるよう通知を出す等して公的にサポートしてくれると助かると感じた。家賃等の条件が悪くても保証人の条件が緩いところしか選べなかった。(里親として面倒を見てくれたのが就労していない(親族)だったので、保証人として認められなかった。
- ・里親は無理に増やそうとしない

(里親家庭の問題点)

- ・里親の内部事情は周りの大人が思っているよりずさんなところもあります。もっと内部に踏み込んで環境改善するべきです。
- ・施設の問題は、けっこう、明るみになっていますが、個人の里親家庭での問題はまだ、知られていないので、里親のところ、またうまくいかない子たちの問題も、ちゃんと気づいて欲しいです。

(進学者への経済的支援)

- ・何をするにもお金は必要なことで、里親や児童養護施設で育った子が金銭的に苦勞することはあると思います。社会に出たら1人でやっていかなければなりません、学業に関してはお金の支援がもう少しあってもいいと思います。普通の家庭でも大学や専門学校に入るには多額のお金が必要で奨学金を借りたとしても返して行くのは本人で働きながら返して行くのはやはり負担が大きく大変です。どれくらいの支援があるかはわかりませんが学びたいという子には学ばせてあげて欲しいです。奨学金はどうにかならないものでしょうか？
- ・進学するときの民間の奨学金は、施設出身の人の枠が多くて、里親出身者の枠は少ないので、もっと里親出身者の現実を知ってもらえるよう、企業への普及活動にも取り組んでほしいです。
- ・今後、学生や未成年である期間の経済支援、住宅支援等拡充されていくとより自立に安学業等にも専念できると思う。
- ・施設や里親で育った子ども達への進学の支援を続けて、充実したものにして欲しいです。子ども達が、自由な選択肢から何の負い目を感じることなく、また不安を背負う事なく自分の道を選ぶことができる未来を願っています。

(里親手当を手厚く)

- ・全体的に手当などを手厚くしてもらいたい(発達障害のある委託児童の委託先の里親さんもいるだろうからその部分をもう少し支援していただきたい。